

おかげさまで500号!

Silver Toshima

いきがい! やりがい!! はたらきがい!!!



表紙 梅 撮影:横山 庸校 会員

2025年 会報2月号 VOL.500

会員数 1,656名 (2025.2.1現在) 男:979名 女:677名

編集発行

 公益社団法人
豊島区シルバー人材センター

〒170-0013 豊島区東池袋2-55-6
TEL:03-3982-9533 FAX:03-3982-9532
Mail:toshimaku@sjc.ne.jp



豊島区シルバー 🔍 検索



★会員限定★ミモザセミナー

開催日 令和7年2月26日(水) 午後2時～3時(受付開始:午後1時30分)

会場 帝京平成大学池袋キャンパス内集会室

テーマ 資生堂ライフクオリティビューティーセミナー ハンドケア&頭皮ケア
専門スタッフの指導のもと、実際にご自身で顔や手、頭皮のお手入れを行います。

定員 30名(先着順) ※男性可

申込 電話(03-3982-9533)またはメール(toshimaku@sjc.ne.jp)
でお申し込みください。

担当 ミモザ委員会(古山・羽田)



安全就業標語・サブスローガンの選考結果について

毎年、たくさんの応募をいただき、ありがとうございます。下記の作品が安全就業標語・サブスローガンに選ばれました。選ばれた作品は、会報4月号から1年間掲載します。また、安全就業標語につきましては、東京しごと財団募集の「安全就業標語」に豊島区シルバー人材センターの推薦標語として提出します。

【安全就業標語】事故防止のための体力づくり

歩こうよ	体力づくり	基礎のもと	森	長次郎	会員
「大丈夫！」	その自信は	過去のもの	上野	寿摩子	会員
年取ると	意識と体	反比例	岩松	敏秋	会員

【安全就業標語】交通ルールを守ろう

ルール無視	急ぐその足	どこへ行く	柳	沢	公雄	会員
スマホ見る	違反行為	事故まねく	奈良	道子		会員
スマホ見て	歩く貴方は	赤信号	高橋	忠		会員

サブスローガン

ありがとう	言われてうれし	この仕事	塩	島	敏男	会員
ありがとう	みんなで作る	仲間の輪	二見	律子		会員
笑顔良し	今日も感謝で	楽しい仕事	松本	憲蔵		会員
そのキャリア	生かして下さい	シルバーで	上野	寿摩子		会員

シルバー総合保険の改定について

シルバー総合保険はここ数年の事故増加傾向から改定せざるを得ない状況となり、令和7年度より、保険料の値上がり(センター負担)に加え、賠償責任保険については、保険適用時の会員の自己負担金が以下の通り変更になります。

自己負担金 1,000円 → 5,000円

詳細は、次号の会報4月号に同封のシルバー総合保険パンフレットをご覧ください。





会員紹介

富士登山250回を目標に頑張っています！

小島 正美さん (75)



新潟から東京に集団就職で上京した翌年16歳の時に、ふと「富士山に登ろう」と思い、一人で1合目から、今でいう弾丸登山を敢行しました。その後、何度か登るうちに知り合いができ、2000年から富士登山ガイドの補助員として本格的に登り始めました。今では富士登山ガイドをしつつ240回まで登山回数を重ねました。富士登山は5合目までバスで行く登山が主流ですが、そちらのガイドは若い者に譲り、私自身は1合目から登る定員6名の「ゼロ富士ツアー」を企画しガイドをしています。今年中に250回登頂を目標に頑張っています。70歳以上の登頂者は「富士山高齢登拝者名簿」に掲載されますので、挑戦してはいかがでしょうか。私がガイドします。

冬は、SAJ（全日本スキー連盟）、SIA（日本プロスキー教師協会）に登録し、志賀高原でスキーのインストラクターをしています。年間で10校程度の修学旅行生を指導しています。学生は覚えが早く、上達して、楽しくスキーをしている様子を見ると、自分も同じく嬉しい気持ちになります。ガイド業でもインストラクター業でも、ご一緒の方が喜んで帰っていきます。それをやりがいとして今でも続けています。

毎日3万歩を目標に歩くことがライフワークです。区内25か所にある区民ひろばのチラシを見て、楽しいイベントがあれば歩いて向かい、参加しています。また、「つなぐ、つながるひろばMAPスタンプラリー」にも参加し、全ての区民ひろばを1日で約42km歩いて制覇しています。また、秩父の7峰縦走（全行程約42kmある秩父の7つの山を1日12時間の制限時間で歩く）にも10年連続完走を目標に、2012年から挑戦し（コロナで2年間の中止）2023年に達成しました。

元気の秘訣は、「くよくよしない、好きな物を食べ、好きな物を飲む」です。4月からはスキップ見守り業務を、なるべく家から遠い学校をお願いして就業します。



会報編集員大募集

本誌「Silver Toshima」の編集員を募集しています。

【Silver Toshimaとは？】

この会報誌は、事務局職員が中心となって製作している会員向けの情報誌です。現在、この会報誌を編集する会員を大募集しています。申し込み方法は以下のとおりです。

【募集人数】1名

- 【応募要件】
- ・編集業務に従事したことがあること
 - ・自身のパソコンを活用し、自宅で編集作業が可能なこと
 - ・会報データをPDFで納品できること

【委託料】1号発行につき、30,000円

【申込方法】同封の「会報編集員募集要項」をご確認のうえ、「会報編集員申込書」を、シルバー人材センターまで持参または郵送してください。（担当：戸川）





わが事ら探訪

Vol.25

私が小学校4年10才の時、池袋東口に転居してきました。当時は西武、丸物、三越の百貨店があり、西口には東横がありました。都電がタカセ前の停留所から各方面に発着して、トロリーバスが渋谷、王子方面の2方面に運転していました。地下鉄丸の内線はすでに運転されていました。サンシャインの前身の土地は東京拘置所、イケサンパークは造幣局、とにかく歴史を語る街です。そして、今でも美味しさ残る山岸一雄さんの大勝軒が行列を作っていた、そんな池袋でした。びっくりガードから雑司ヶ谷墓地に走る東通り商店街付近に居住し、狭い道路でしたが、左右に八百屋、肉屋、魚屋に医院に銭湯という生活空間が整っており、快適でした。



今はその面影は全く無く、行列の出来るビストロが並び、ランチやディナータイムには若者が溢れています。しかし、ちょこっと横に入ると、昔ながらのどら焼きの「すずめ屋」さんが営業しています。

国鉄からJRへ、赤羽線から埼京線に変わり、貨物線に通勤車両が走りました。2008年6月14日には地下鉄新線副都心線が開通、当日は雑司ヶ谷駅に一番乗りし、一番切符欲しさに並び（6番目でしたが、切符は今でも宝物として持っています）、一番電車に乗り新宿まで行きました。現役時代、仕事の都合で8カ所引越しましたが、どこよりもこの大きく変貌したこんな池袋が私は大好きです。
(広報委員：小松原 義親)



就業現場紹介 — 子どもスキップ清和 帰宅時見送り —

今回は、1月から開始された「子どもスキップ帰宅時見送り業務委託（駒込・清和）」に従事中の永易修さん、葛西泰子さん取材しました。このお仕事は、辺りが暗くなる時間帯に子どもスキップ（学童クラブ）から帰る児童が安全に帰宅できるよう、指定された地点まで見送っています。

従事しているお二人に話を聞くと、1年生から3年生の児童がほとんどで、走ったり道草したり色々なお子さんがいて大変な時もあるけれど、児童から「さようなら！ また明日！ の声に明日も頑張るぞと思える。」「毎日児童から元気をもらえる。」と前向きな声が聞けました。さようならと手を振った後も、児童の背中を見守るお二人の姿が印象的でした。

また、保護者から「暗い中を一人で帰宅するのが心配でしたが、シルバーさんが一緒に帰ってくれて安心です。最近、娘が楽しそうに帰って来ている。」とお褒めの言葉もいただきました。

この仕事は4月から、豊島区内全22校でも開始します！
ご興味のある方は是非、センターまでご連絡ください！
(03-3982-9533)

仕事内容 子どもスキップ（学童）から帰宅する児童の見送り

就業日 週1日～シフト制

就業人数 1校あたり8～10名 全体で200名ほど





就業適正化（5年ルール）について

◎就業適正化（5年ルール）の基本的な流れ

豊島区シルバー人材センターでは、会員の公平な就業機会の提供のため、ワークシェア（分かち合い就業）の推進を行っています。

就業開始から5年経過（※）している会員の方が**自動的に就業終了となる訳ではありません**が、全ての就業現場において、新たに会員から**就業希望があった場合には、5年以上の会員**の方は、分かち合い就業の観点から**原則交代**していただくこととなります。

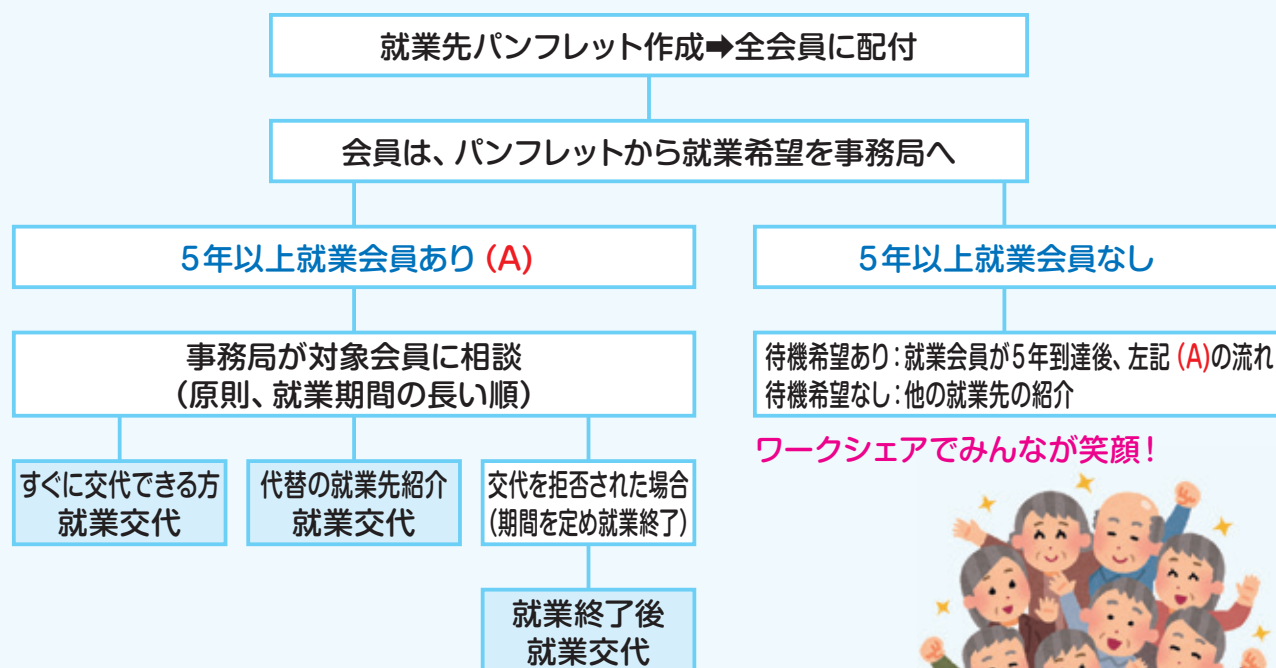
その場合、担当職員が交代する会員の方への他就業現場への紹介を含め、交代時期等について相談してまいります。

※**就業開始から5年以上経過とは・・・就業開始年度の次年度から5年を経過した方**

例：令和2年4月1日～令和3年3月31日までに就業開始（**就業開始年度：令和2年度**）し、継続して同じ就業現場で就業されている方

➔ 令和8年3月31日（**5年経過年度：令和7年度**）をもって5年以上経過となります。

◎就業適正化（5年ルール）の基本的な流れ（イメージ）



ワークシェアリング（仕事の分かち合い）については、平成14年に当時の厚生労働省高齢者雇用対策課長名で各都道府県のシルバー人材センター事業主管部長宛に「シルバー人材センターは、受注した仕事に対し、特定の会員を特定な業務に長期間、継続して就業させることなく、できるだけ多くの会員が、その能力と希望に応じた公平な就業機会を得られるよう、十分に配慮を行うことが必要である」との通達を出しています。

従って、全てのシルバー人材センターは、ワークシェアリングの実現に取り組む責務があります。





会報配付期間のお知らせ

次回の会報配付期間

〈4月号〉

4月14日(月)～4月20日(日)

★地域班活動の一環として、各地域班の協力会員が、会員宅へ直接訪問し会報をお届けしますので、表札等のご協力をよろしくお願い申し上げます。また、**協力会員として活動できる会員を募集しています**。ご協力いただける方はセンターまでご連絡ください。

ゴールド会員・家族割会員

ゴールド会員（就業は希望せず、講演会やボランティア等の就業以外のイベントは参加したい会員）及び家族割制度（ご家族が会員である方）として登録を希望される方は、会費が通常の2,000円から1,000円となります。

1月末現在で、ゴールド会員27名、家族割会員124名（62組）が登録をしています。

随時登録を受付しており、詳細はHPでもご案内しています。

ご希望の方は事務局（03-3982-9533）へご連絡ください。

配分金の支払日について

1月就業分 …… 2月14日(金)

2月就業分 …… 3月14日(金)

※1月就業分から配分金明細書は郵送してないため、配分金明細はSmile to Smileでご確認ください。

次回のスマスマ登録会

就業情報や配分金明細をスマホやPCで簡単に確認することができるSmile to Smileの登録会（30分程度）を実施しています。

ご希望の方は、以下の日程にてお電話（03-3982-9533）でお申し込みください。

今後の予定

2月18日(火)

3月11日(火)

3月25日(火)

午後1時～

ボッチャ大会優勝！

1月20日(月)に高齢者クラブ主催のボッチャ大会で、当センターから出場した地域班1・2班合同チームが優勝しました！



【代表コメント】本選に向けた練習の甲斐があって、優勝できました！（椎名会員）

編集後記

日本100名城に行ってみませんか。「日本100名城」とは財団法人日本城郭協会が全国各地の名城探訪の手がかりとして2006年に定めた日本の名城100選のことです。私も家内と一緒に約20年前からスタート。現在約60城を制覇しました。スタンプラリー（スタンプ帳）としてスタンプを押して行く面白さもあります。スタンプが増えて行くと達成感というか何か本当に嬉しい気持ちになります。日本の歴史、文化、伝統、観光地(名勝地を知る)、適度な運動により健康にも良い、温泉に入ってリフレッシュ、地元の美味しい食物に舌鼓をうつ、日本の素晴らしさが実感できると思います。「春夏秋冬」訪れる時期によっても様々な体験が得られると思います。NHKの大河ドラマや時代劇を観るうえでもより興味、関心が湧いてくると思います。ご家族連れ、お友達同士、夫婦等で一度チャレンジしてみたいかたがでしょう。私は、今年は九州方面のお城にチャレンジ、特に平戸城には是非孫を連れて行きたいと思っています。100名城達成まで頑張りたいと思っています。

(広報委員 飯島一夫)

